



河原田っ子

河原田小学校だより

令和4年11月30日 第9号

備えあれば憂い無し

河原田小学校 校長 浅見 淳一

11月2日13:30から、地震避難訓練、児童引き渡し訓練、防災学習会を行いました。

はじめに、大きな地震が起きた想定で、児童たちは音楽室（3階にあり、裏山から最も遠い）に避難しました。

本校は「土砂災害警戒区域」にあるため、大きな地震があれば、裏山からの土砂流入被害も想定しなければなりません。音楽室への避難が完了した後、急遽職員で協議し、土砂災害の危険を回避するため、職員の車に分乗して河原田公民館に避難することにしました。



次に、公民館で児童引き渡し訓練を行いました。本校からの緊急メールで、保護者の方々が公民館に駆けつけて下さいました。玄関では、公民館の方々の協力も仰ぎ、保護者の体温を測ったり手の消毒をお願いしたりしました。保護者の皆さん、ご協力ありがとうございました。

申し訳なかったことは、玄関での引き渡し対応に想定以上の時間がかかったことです。段取りを見直します。

最後に、児童・保護者・職員で、防災学習会を行いました。講師は、金沢大学の青木賢人准教授。先生は、河原田地区のデータを多く用意され、実際に災害が起こった場合の対処について、いろいろ教えて下さいました。

実際に公民館へ避難する災害はめったに起こらないかもしれませんが、いざという時、この訓練をしたかいなかったかで大きく違います。備えあれば憂い無しです。



マラソン大会

11月2日、秋晴れの空の下、マラソン大会を行いました。たくさんの保護者の方々が応援して下さいました。

学校周辺の特設コースを、1・2年は1周（800m）、3・4年は2周（1500m）、5・6年は3周（2200m）走りました。保護者の方や学童野球の水上監督も児童と一緒に走ってくれました。ありがとうございました。



おかげで児童も頑張ることができました。各学年部の1位の選手とタイムを紹介します。

1・2年生の部	2年	君（3分53秒）
3・4年生の部	4年	君（6分21秒）
5・6年生の部	5年	君（9分39秒）



春日用水4年



11月7日、4年生がスクールバスに乗り、社会科の学習で、春日用水（稲舟町）へ行きました。水を引き込める川がなく、日常的に水不足で苦しんでいた稲舟台地ですが、およそ400年前に塚田川を取水口とする春日用水が作られてからは、潤沢な水資源で潤っています。

この日は、その春日用水の取水口と、稲舟台地に広がる田園風景を見学しました。

稲舟台地には、伝説があります。およそ800年前、稲舟台地で百姓をしている笠原藤太という人物が、干からびた田を眺めながら、「この田へ水を入れてくれる者がいたら、一人娘をやってもいい。」とつぶやいたのだそうです。すると一人の若者が現れ、一晚のうちに田に水を満たし、藤太の娘を嫁に欲しいと要求してきました。しかし、藤太がそれを断ると、若者は本性を現しました。なんと彼は大蛇だったのです。驚いた藤太が家に閉じこもると、大蛇が玄関の隙間から家の中にもぐり込んできました。さあ、たいへんです。しかし、絶体絶命かと思われたその時、藤太が飼っていたカニが、なんと大蛇を9つに切ってしまったというのです。9つの体に分かれた大蛇は、奥能登各地に飛び散りました。現在、奥能登には、「蛇」と名の付く池が9つ残っているそうです。水に苦労していたこの地域の暮らしがうかがえる伝説ですね。



春日用水の造成を指揮したのは、板屋兵四郎。彼は、輪島市の三大用水（春日用水、千枚田に水を供給している谷山用水、輪島市打越を流れる尾山用水）の造成を成し遂げた後、その功績を認められて金沢に呼ばれ、金沢城や兼六園に水を運ぶ辰巳用水を完成させたとされています。すごい人物ですね。4年生、たくさんのお話を学び、大満足で学校へ帰りました。

指導主事計画訪問B

11月24日に2学期の指導主事訪問があり、4限目には、全学級で授業を公開しました。

1・2年は書写、3年は理科、5・6年は総合、のびのびは自立活動。そして4年は社会（坂尻先生、右写真）で、春日用水の見学について振り返っていました。

5限目には、1・2年学級が研究授業（算数）を行い、本校の先生方全員と奥能登教育事務所の指導主事の方々が参観されました。



1・2年生3名は、いつもと違う雰囲気の中でよく頑張りを、いい意見をたくさん発表してくれました。素晴らしい。

